

SP シリーズ 清掃方法

印字カスレ、カット長違い等、エラーの原因となりますので、定期的に清掃を行って下さい。

◆◆◆ 作業の前に ◆◆◆

【必ずお守り下さい】

- ・部品取り外しの際は**必ず電源を切**って下さい。
電源が入ったまま作業すると怪我や故障の原因となります。
- ・カッター刃が取付いています。**必ず作業前にカッター刃を取り外**して下さい。
- ・シンナー及び部品洗浄油等は、**故障の原因**となりますので使用しないで下さい。

【準備するもの】

- ・アルコール ・エアースプレー ・ウエス ・綿棒 ・プラスドライバー（カッター取り外しの為）

◆◆◆ 清掃箇所 ◆◆◆

* 必ず電源を切って作業して下さい *

- ① サーマルヘッドの汚れ取り
 - ・サーマルヘッドの先端部分を、アルコールを浸した綿棒で軽く拭き、汚れを落とします。
注）強く擦り過ぎると、ヘッド先端部分が傷つきドット抜けの原因になります。
- ② カッター台の汚れ取り * 必ずカッター刃を取り外してから作業して下さい *
(カッターマット交換の際に、ノリ部分が台座に残る場合があります)
 - ・アルコールを浸した綿棒で取り除いて下さい。
- ③ 印字テープが当たっているロッド（棒）の汚れ取り
(印字の際にテープが擦れるロッド部分（棒）に汚れがこびりつく事があります)
 - ・アルコールを浸したウエスで汚れを落として下さい。
注）ウエスが届かない箇所は綿棒を使用して下さい。
- ④ ラベルセンサー／テープエンドセンサー等の埃取り
(センサー部に埃がたまりセンサーの反応が悪くなり誤反応する場合があります)
 - ・エアースプレーで埃を飛ばして下さい。
- ⑤ カッター台の穴からの埃取り（マットソレノイドエラー回避のため）
(ハンギリモードご使用の際に、埃等により動きが悪くなりエラーが発生する場合があります)
 - ・エアースプレーで埃等を飛ばし、ごみを取り除いて下さい。

* ここからは電源を入れて作業して下さい *

⑥ ドライブローラー／プラテンローラーの汚れ取り

- ・ローラー部にアルコールを浸した綿棒を当てフィードキー「F」もしくはバックキー「B」を押しながらローラーを回転させ、汚れがなくなるまで拭き取って下さい。

⑦ プリフォアードローラーの汚れ取り

- ・プリフォアードアームを上げ、ローラーを回転させながら汚れを拭き取ります。アルコールを浸したウエスまたは綿棒を当て、汚れが無くなるまで行って下さい。

<チェック表>

清掃日： 年 月 日

チェック項目	清掃確認	備考
① サーマルヘッド清掃		
② カッター台清掃		
③ ロッド清掃		
④ センサー埃飛ばし		
⑤ カッター台埃飛ばし		
⑥ ローラーの汚れ取り		
⑦ ローラーの汚れ取り2		